

東播磨港小型船舶係留施設のサウンディング調査実施結果

1 参加事業者数 2者

2 サウンディング調査結果の概要

サウンディング調査において、参加事業者からいただいたご意見等の概要は以下のとおりです。

指定管理期間について
①設備投資した際の回収期間を考慮すると、指定管理期間は長い方が望ましい。
②概ね15年程度あれば設備投資しやすくなる。
公募における応募期間について
①応募期間は長い方が望ましいが、事前周知が上手くされていれば、応募期間は必ずしも長くなくても問題ない。
②概ね1ヶ月～1.5ヶ月程度でも支障はない。
公募に向けた課題について
①施設の修繕等における基準や役割分担等について、公募条件の中での明確化が必要
②施設の発展性や将来性を考えたポートパークの根本的な在り方について検討し、採算性を向上させることが必要
③県が進める放置艇対策への協力に伴う艇置数向上の限界
公募された際の参入障壁について
①地域との信頼関係の構築等
②施設の老朽化に伴う採算性や将来性の問題
③県への還付金に係るインセンティブ制度（協定額を上回った収支差額収益の1/2を県への還付金に加算）による収益向上インセンティブの阻害
県への要望等について
①社会情勢を踏まえた根本的な施設の在り方を検討し、施設の魅力を向上させる必要性
②指定管理者制度における収支差額（協定した県への還付金を上回った収益）の取り扱いについて、民間活力を向上させる工夫が必要

担当者：県土整備部土木局港湾課計画振興班
TEL：078-362-9274
メール：kouwanka@pref.hyogo.lg.jp